

平成23年度 出張緩和ケア研修「老人デイサービスセンター ふれあい」アンケート集計

□日 時:平成23年10月20日(木) 18:30~20:15 □場 所:老人デイサービスセンターふれあい

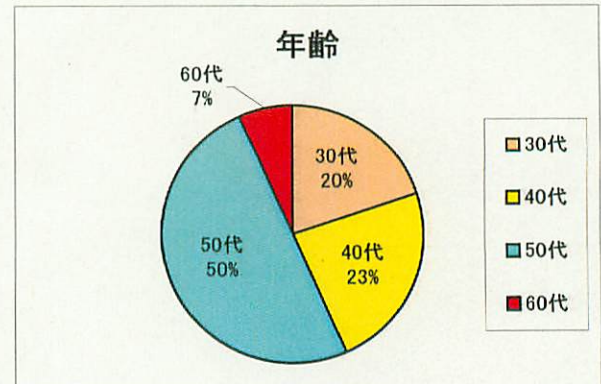
□講 師:鶴岡市立荘内病院 内科・緩和ケアチーム 和泉典子先生

□テーマ:がん終末期の患者・家族に私達は何ができるのか? ~患者と遺族の声から考えてみよう~

□参加者:55名 □アンケート協力者:30名

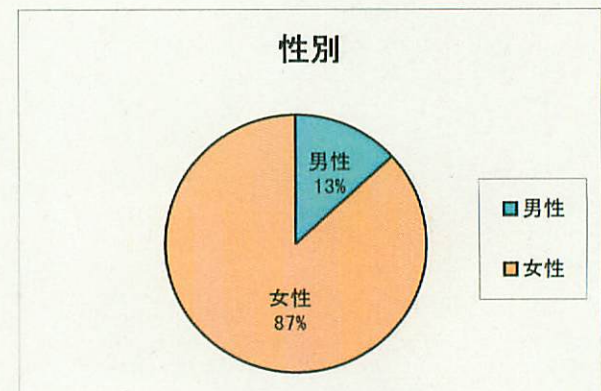
1 年齢

年齢	30代	7
	40代	7
	50代	15
	60代	2
合計		30



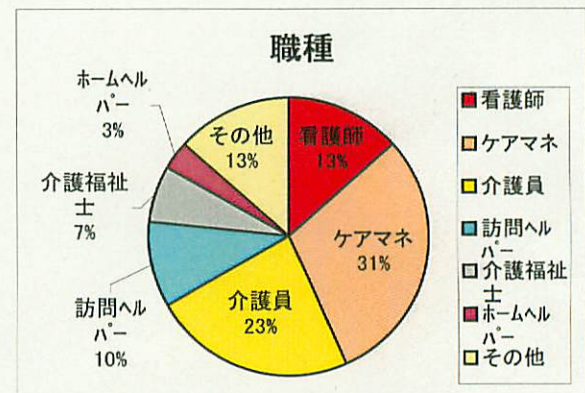
2 性別

性別	男性	4
	女性	26
合計		30



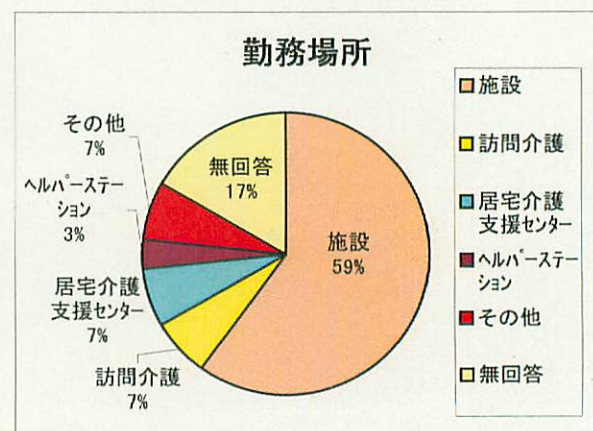
3 職種

職種	看護師	4
	ケアマネ	9
	介護員	7
	訪問ヘルパー	3
	介護福祉士	2
	ホームヘルパー	1
	その他	4
合計		30



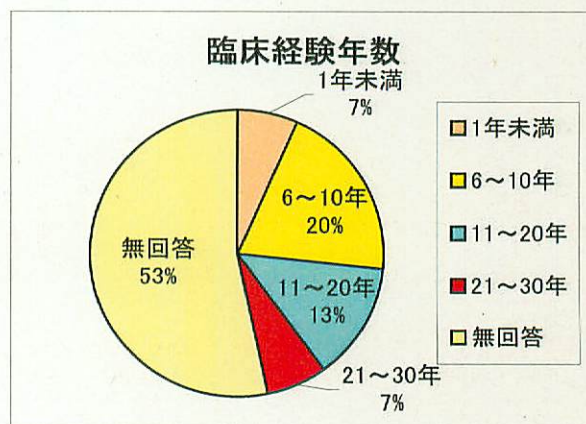
4 勤務場所

勤務場所	施設	18
	訪問介護	2
	居宅介護	2
	ヘルパーST	1
	その他	2
	無回答	5
合計		30



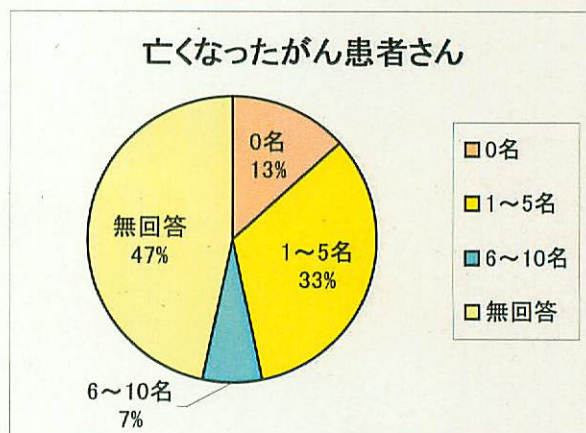
5 臨床経験年数

年数	1年未満	2
	6～10年	6
	11～20年	4
	21～30年	2
	無回答	16
合計		30



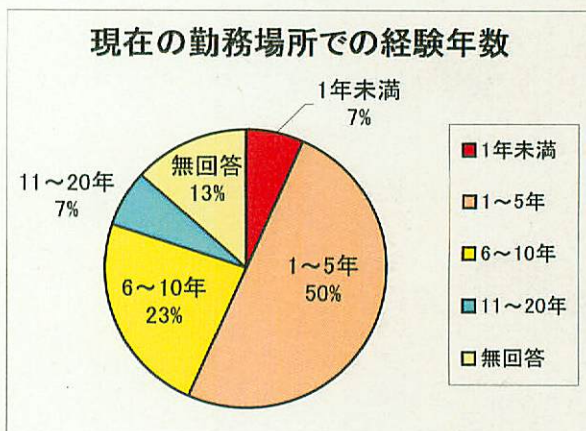
6 昨年1年間に関与して亡くなったがん患者さんの数

患者数	0名	4
	1～5名	10
	6～10名	2
	無回答	14
合計		16



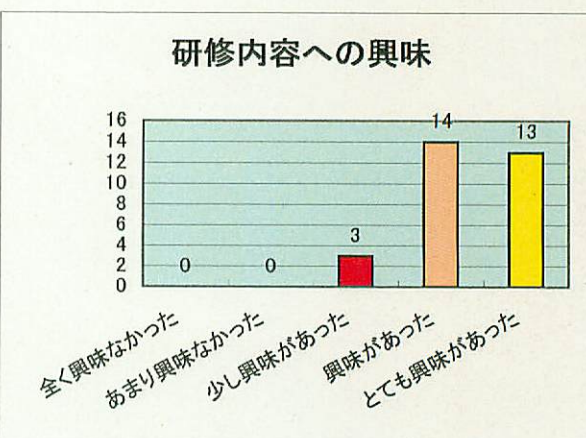
7 現在の勤務場所での経験

経験年数	1年未満	2
	1～5年	15
	6～10年	7
	11～20年	2
	無回答	4
合計		30



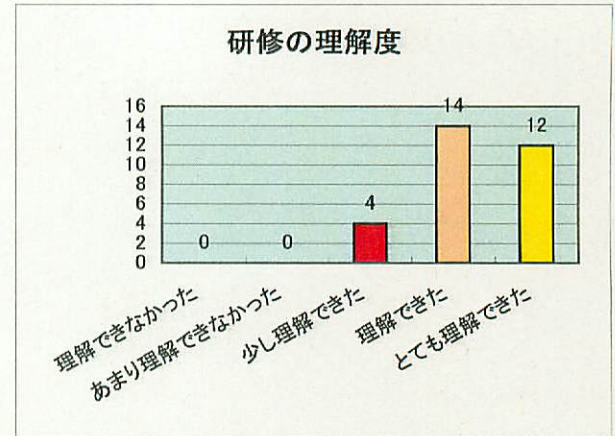
8 今回の研修内容は興味のあるものでしたか

研修内容への興味	全く興味なかった	0
	あまり興味なかった	0
	少し興味があった	3
	興味があった	14
	とても興味があった	13
合計		30



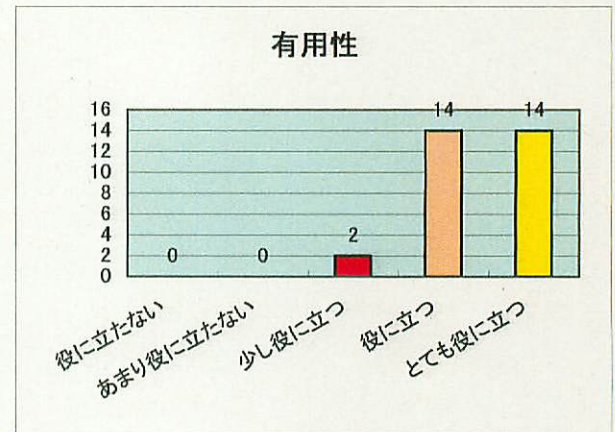
9 今回の研修の内容は理解できましたか

理解度	理解できなかった	0
	あまり理解できなかった	0
	少し理解できた	4
	理解できた	14
	とても理解できた	12
合計		30



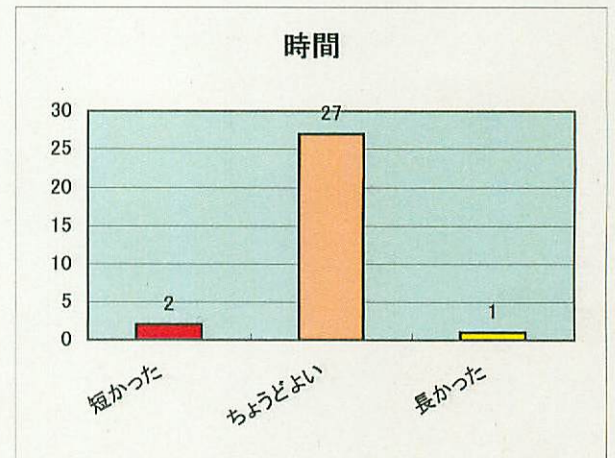
10 今回の内容は緩和ケアをしていくうえで役立ちますか

有用性	役に立たない	0
	あまり役に立たない	0
	少し役に立つ	2
	役に立つ	14
	とても役に立つ	14
合計		30



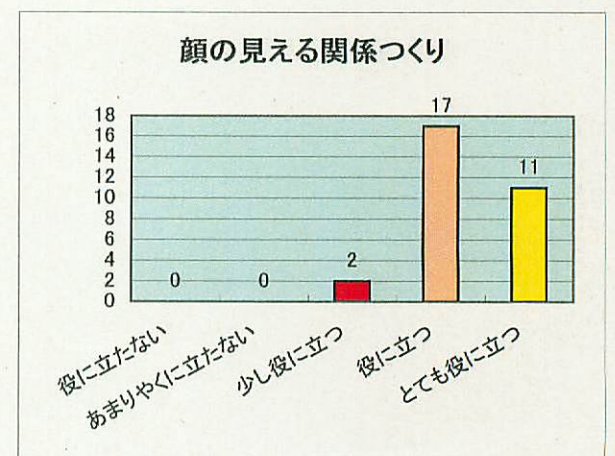
11 時間はどうでしたか

時間	短かった	2
	ちょうどよい	27
	長かった	1
合計		30



12 今会顔の見える関係づくりの役にたりますか

関係づくり	役に立たない	0
	あまり役に立たない	0
	少し役に立つ	2
	役に立つ	17
	とても役に立つ	11
合計		30



□自由記載

- 1 毎月開催している症例検討会、楽しみに参加しています。美香子先生中心に皆、悩みは同じなのだと感じています。そこで気になるのが、協立病院と荘内病院の在宅へ向けての温度差です。荘内病院も協立病院のようになってほしいと勝手に思っているところです。緩和ケアチームと一緒に仕事ができるということは、とてもすばらしい事なんだと認識しております。緩和ケアチームが関わらない人の退院カンファも熱くできればいいのと思います。
- 2 身内で看取ったことがなかったので、ターミナルの状態を知ることができてよかった。また、声かけはとても重要と感じました
- 3 現在自分の身近にも緩和ケアを行なっている人がいます。教科書やテキスト上では、ケアの進んでいく様子はとてもわかりました。(人の治療に関して説明の過程でテキストが使われているのには多少違和感がありました)ただ実際の病棟でこれだけ丁寧にわかりやすくDrの説明・フォローがすべての患者さんへなされていらない現実もあるのかな・・と感じるところです。
- 4 ターミナルの患者をケアしていく上で、私たちができることなど具体的に実践できるお話を聞くことができて良かったです。患者さん、ご家族にとって残りわずかな大切な時間に関わっていくということで、しっかりした対応をしていきたいと思います。「一生のうちに、誰かひとりかふたりでも助けられたいいいと思ってやっているよ」という言葉がとても印象的でした。
- 5 母を亡くして17年になります。あの時から比べるとがんかん患者さんに関するケアがとても進んでいて、安心して最期を迎えられる時代になったと思います。
- 6 私たちが常に行っている事の確認が出来た研修でした。ふれあいの継続研修にできればと思っております。次回より職員も食事をしながら色々お話を聞きたい旨の話がありました。次回もよろしかったらお声かけさせていただきます。よろしくお願いいたします。
- 7 とてもわかりやすい説明で良かったです。ありがとうございました。また、お話を聞かせて頂く機会がありましたら、ぜひ参加させて頂きたいと思います。
- 8 緩和ケア対象の方々との関わりの中で、日々変化していく体調やADLを見てきて、本人と家族とどれだけ関わっているか(会話し、悩み、質問、何でも言ってもらえること)それが大事だと感じております。今後、仕事以外でもこういった場面に立ち会う事が出来ることは確かであり、人としてもしっかりと向き合っていきたいと思います。
- 9 10月から初めてケアマネ業務をしており、また緩和ケアのお話を聞いたのも初めてだったが、とてもよい内容でわかりやすく、参加して良かったと思います。これから先、仕事をしていくうえで医療との連携も重要であると思い、顔の見える関係作りという面でも、和泉先生のお話を直接聞くことができ、知識も深めてよりよい支援ができるように頑張っていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 10 アットホームで良かったです。来年度からもぜひ継続していただきたいと思います。
- 11 利用者さんの心に寄り添える看護人でありたい、そのためにも病気のことを知らないと、気持ちも痛みも共有できないので、今回べ勉強できて良かったです。
- 12 まだ介護の仕事を始めて日が浅いので、利用者さんの緩和ケアについては、全然わかりませんでした。また家族にもそういったことがなかったですから、よい勉強になりました。これからはそういった立場にたった場合、対応できるようになりたいです。本日はそうもありがとうございました。
- 13 とても重い課題とは思いますが、人として生まれたら必ずむかえる事なので、特に最期の1週間がわかりやすく説明いただきました。がんの家族をもっているの、今後自分の心にとどめて活かして行きたいと思います。ありがとうございました。
- 14 利用者さんからの声に親身なって介護して行きたいと思う。重い話をされた時の答え方も参考になりました
- 15 参加させる(意見を生で言わせる)事で、より素敵な声をきかせて頂くことがあってよかった。これからはより多くの人にすすめて広げてください。私の父も4~5年前、荘内病院に緩和ケアができた年にお世話になりましたが、その時はどんなものかわからなかったですが、知ってたらもっと違った病床だったのかなと思いました。